



2026年度 第1号 令和8年5月21日  
松江市立大庭小学校 校長 吉田 卓矢

※学校ホームページは  
こちらからどうぞ→



# 笑顔 楽 幸 だより

## 今年度初めての学習公開日、PTA 総会を実施しました!

当日は、前日からの雨により校庭を駐車場として開放することができませんでした。風も強く吹いていて、荒天、悪条件であったにもかかわらず、たくさんの保護者・関係者の方々に来ていただきました。大変ありがとうございました。

学習公開後の PTA 総会にもたくさん残っていただきました。参加はできなくとも委任状を提出していただいたご家庭も多く PTA 会員数313家庭に対し、参加・委任状の提出を合わせると287家庭・・・90%以上の承認を受けることができる PTA 組織である大庭小学校の保護者は素晴らしいと改めて認識させていただきました。

そんな温かい気持ちに支えられて、こども達は学習公開の時間は、保護者の方に頑張っている姿を見せたいといつも以上に張り切っていたように感じました。私たち教職員もこども達や保護者の方々の期待に応えることができるように身の引き締まる思いがします。これからも全職員で力を合わせて、こども達を支え、笑顔があふれ、楽しくて幸せを感じる授業づくり、教育環境づくりに取り組んでいきたいと思ひます。



1年生は、小学校に入学してから初めての学習公開日でした。まだ、本学級ではなく仮の担任で、仮の学級(はじまり学級)でしたが、ようやく大庭小学校での生活にも慣れて、頑張っている姿を見せようと、全校の中でも特に笑顔があふれていたように感じました。

お父さん、お母さんたちと一緒にあさがおの種まきをしていると自然に笑顔になります。また、生活科で学習したことや調べたことをおうちの人と確認しながら、お話ししながら活動をしているとどんどん楽しくなってきます。学習公開日の中ではありましたが、親子で共同作業できる時間は、きっと幸福なひと時であったと思ひます。



# 6年生は広島に修学旅行に出かけました。

5月14、15日の2日間で、たくさんの学びがありました。6年生で修学旅行に出かける意義や意味を今回の2日間でより強く感じることができた2日間でした。修学旅行を実施する意義は、「日々の学習を総合化する」「こどもの社会性を伸長させる」「日本の地域・文化理解を深化させる」「共同体としての学校づくりを進める」などたくさんの意義があるとされています。だからこそ今回の大庭小学校の修学旅行では、単なる「思い出づくり」ではなく、大庭小学校のリーダーとして、「今後に生かしていける貴重な体験を一人一人の実態に応じてつかみ取ってほしい。」と願っていました。6年生の変化・成長が学校全体に波及していきます。「大庭笑楽幸」をみんなで創っていくためのベースとなると思うのです。

結果から言うと想像以上、想定を超える経験をする事ができたと思います。一つだけ例を挙げると「ピースメッセージ集め」があります。準備をしていった「質問のしかたや想定問答集」はありますがそれを活用して、実際に多くのメッセージを集めるのは大人でも難しいのではないのでしょうか？(いや大人の方が難しいかも)こども達は、外国の人からのメッセージを多く集めていました。平和を求める心は言語を越える経験もしたでしょうし、思いを伝えることの大切さや学習班のチームワーク、恥ずかしさや緊張という感情を伴った体験を共有し、仲間づくりという面からも貴重な体験をすることができました。この紙面では、とても書き切れませんが、全ての学習場所において、大きなトラブルもなく全日程を終了することができました。これからの6年生の活躍に期待をせずにはいられない2日間でした。



## はじまり学級から本学級へ ～学年担任制～

本校では、「はじまり学級」として入学から5月中旬まで仮担任として学級をスタートさせ、今年度は5月18日より本学級をスタートさせる「プレ学級制度」を採用しています。この取組は、令和6年度より取り入れています。島根県はもちろん全国的に見てもまだまだ珍しい取組です。(自治体として採用しているのは、東京都港区のみのようです。)多くの幼児教育施設から入学してくる1年生の立場に立って考えてみると、それは大変です。これまでのお作法や信頼していた先生も代わり、環境も変わります。上手く小学校の文化やお作法に適應できる人は良いのですが、どうしてもクラスによって偏りが出ます。この偏りやいわゆる小1プロブレムに対応するための一つの手法として本校でも取り入れています。

しかし、このしくみの本質、優れているところは「担任の指導が1組と2組でそろふこと」だと私は感じています。本学級が同じようにスタートするためには、細かく指導内容や進度、ルールなどを打ち合わせることが必要です。学級に関わる担任以外の教職員との打ち合わせや情報共有も必然的に行われるようになります。

これは、他の学年でも同じように意識されています。本校で取り組んでいる「学年担任制」は、年度途中の学級編成こそしないものの学年全体で、こども達を見ていこう、育てていこうという方向性は同じです。

1年生は、お作法をそろえ、偏りも均一化していくことで、こども達も安心して学校生活を送ることができています。いよいよ本学級本番です!!これからの成長を楽しみにしていきましょう。

